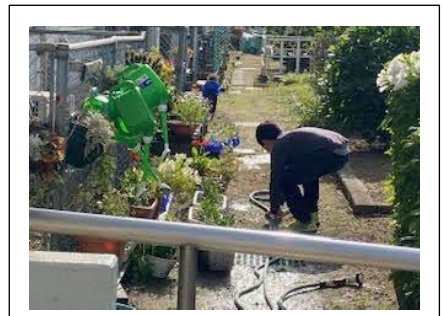




校訓 その1 「奉仕のできる子」

毎週火曜日は、「VS 活動」で学校がスタートします。さわやかな音楽が学校中に広がったかと思うと、おもむろに子どもたちが草取りや水やり、落ち葉掃除を始めます。初めての光景に、思わず近くにあった4年生に「何をするのか、決まっているの?」とたずねると、「決まっています。何をするか、考えてやります。」と立派な返事が返ってきました。

「VS 活動」とは「ボランティアサービス(奉仕活動)」を意味します。**他のために今の自分にできることはないかを考え、自分ができるところを進んで行う活動**です。高学年の姿をずっと見てきた下級生も、自分で考えて落ち葉集めを始めています。このように朝から、みんなが気持ちよく過ごせるために行動ができる子どもたちがたくさんいることに感動しました!



校庭や校舎内のいろいろなところで、自分で考えた VS 活動に取り組んでいました。おしゃべりしながら楽しそうに取り組んでいるグループもありました。

プチ情報!

校訓の一番にある「奉仕のできる子」。特徴的なこの校訓の1つに、どんな思いが込められているのだろうと思い、若葉小学校の歴史を調べてみました!

若葉小学校が開校した昭和 37 年には、校訓に「奉仕」という言葉は、入っていませんでした。ひも解いていくと……。なんと昭和 52 年度に「奉仕精神に満ちた子」という言葉が新しく加えられたようです。「VS」という言葉も記されていました。今から 47 年も前です。「みどりの若葉小」ということで、緑化にも力を入れ始めたころかもしれません。「他のために行動する力」を大切にしてきた伝統の「奉仕の心」。これからも受け継いでいきたいですね。

